

主席
研究員

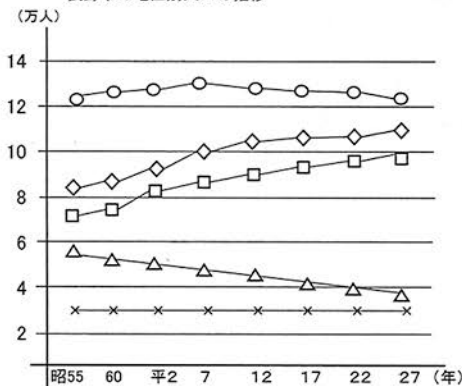
清水秀幸

7

実例「長野市」の検証
(5)住宅事情

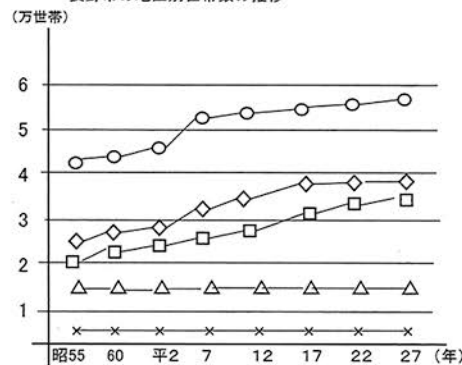
長野市の住宅事情を
分かりやすく概説する
うえで、本章において
は、「長野市住宅マ
スタープラン」に定める
計画対象区域ならびに
平成22年国勢調査を引
用した。その中で計画

長野市の地区別人口の推移



国勢調査結果(27年は推定)

長野市の地区別世帯数の推移



国勢調査結果(27年は推定)

凡例

- =市街地I
- ◇=市街地II
- =犀南地域
- △=中山間地域
- ×=松代・若穂地域



寄稿

人口減少社会と 地方都市の活力再生

⑮

対象区域を5つの地域
に分類しているのであ
らかじめ周知願いた
い。

長野市の人口は一部

地域を除き、各地域と
も相対的に減少傾向に
あることは先述のお
りである。実際、市民
人口は平成12年をピー

クに減少に転じている
ものの、世帯数は増加
傾向にあり、それによ
って1世帯あたりの平

均世帯人員は減少す
る、いわば「世帯の小
規模化」が進行しつづ
あることがうかがえ
る。また、高齢化の進行

に伴って長野市におい
ても、65歳以上の人口
は増加し、既に市民人
口の4人に1人は65歳
以上の時代を迎えてい
る。それとともに、団
塊ジュニアも独立年齢
に達することで世帯数
が増加し、さらに持ち
家は増加すると予測さ

れる。

また、世帯数増加の
傾向を見ると、長野市
においては、1〜2人
世帯が30年前の約3倍
と増加し、反面5〜6
人世帯については、30
年前の2分の1に減少
しており、2世代・3
世代同居といった大家
族型から核家族型に移
行していることが見て
とれる。

清水 秀幸氏 (しみ

ず・ひでゆき) 195

2年長野市生まれ、76

年明治大学政経学部政

治学科卒、同年守谷商

会入社、2006年6

月取締役就任。各支店

長、営業本部長を経て、

退任。13年7月にさく

ら都市総合研究所を設

立し、現在社長。